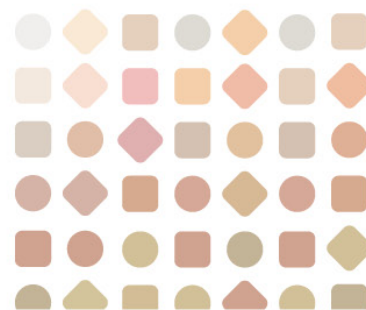


Extensis社のPortfolioウェブクライアント

Portfolio™



コピーライト

© 2010 Extensis, a division of Celartem, Inc.

本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensisの書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

ExtensisはExtensis社の登録商標です。Extensisのロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Vault、Font Sense、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Suitcase Server、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type CoreはExtensis社の商標です。Portfolio NetPublish、NetPublish、Universal Type Server、Type ServerはExtensis社の登録商標です。Celartem、Celartem, Inc.、CelartemのロゴはCelartem, Inc.の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、PostScriptはAdobe Systems, Incorporatedの商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、Macintosh、Mac OS X、PowerPCはApple Computer, Inc.の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、SQL ServerはMicrosoft Corporationの登録商標です。IntelはIntelの登録商標です。OracleはOracle Corporationの登録商標です。Java、Java Poweredのロゴ、MySQLは、米国およびその他の国におけるSun Microsystems, Inc.の商標および登録商標であり、ライセンス契約により使用されています。QuarkおよびQuarkXPressは、Quark Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの会社が所有しています。

オンデマンド画像および映像の転送と処理はMediaRich®プラットフォームによって強化されています。MediaRichはAutomated Media Processing Solutions, Inc.、dba Equilibriumの登録商標です。Copyright © 2004-2009. All Rights Reserved. 米国特許番号6,792,575、6,964,009、その他の特許は申請中。

Extensis社は、製品の購入日より30日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品をExtensis社から直接購入し、30日以内に障害が発生した場合、ディスクをExtensis社に返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前にExtensis社で登録する必要があります。販売店から購入したExtensis製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis社は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



目次

コピーライト	2
Extensis Portfolioウェブクライアント.....	5
このリリースの新機能.....	6
はじめに	9
Portfolioのインストール	9
システム要件.....	9
Portfolio Serverへの接続	10
Portfolioウェブクライアントのインターフェイス	10
メインウィンドウの表示オプション	11
アイテムのプレビュー	12
ファイルのカタログ化.....	14
カタログへアイテムをアップロード	14
カタログからアイテムを削除	14
カタログ	16
ファイルを検索	18
クイック検索.....	18
検索ツールの使用	19
検索条件オプション.....	20
検索結果のクリア	21
ギャラリー.....	22
スマートギャラリー.....	22
ギャラリーアイコンの参照.....	22
新しいギャラリーの作成	22
ギャラリーへのアイテムのアップロード.....	23
ギャラリーからのアイテムの削除.....	23
ギャラリーの並べ替え	24
ギャラリーの削除	24
ギャラリーの名前変更	24
スマートギャラリーの作成.....	25
ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定	25
Portfolioウェブクライアントでのファイルの管理.....	26
アイテムのプロパティの表示	26
フィールドタイプの理解	26
アイテムのプロパティの編集	27
ファイルの移動と削除	28

新しいサブフォルダの作成	29
自動化とウェブクライアント	29
キーワードとカスタムフィールド	30
キーワード	30
カスタムフィールド	30
キーワードの追加	30
キーワードの削除	31
キーワードの置換	32
キーワードとカスタムフィールド	32
オリジナルのダウンロードと編集	33
ファイルのダウンロード	33
バッチ処理	33
変換設定	34
ジョブを表示	36
Extensis社について	37
連絡先	37
技術サポート	37
索引	38

Extensis Portfolio ウェブクライアント

Portfolioウェブクライアントへようこそ

Portfolioウェブクライアントを使用すると、ウェブブラウザを使用して簡単にすばやく、Portfolio Serverにリモートアクセスすることができます。使用しやすい最新のインターフェイスを用いて、中央集中化したデジタルメディアの共有カタログにアクセスできます。これはワークフローを簡素化するために必要な一貫性とコラボレーションをユーザーに提供します。Portfolioウェブクライアントは、多くの異なったメディアタイプで作業するための自動化および時間削減のツールを提供します。これによりユーザーは要望のフォーマットで検索、管理およびダウンロードすることが可能になります。

- [ファイルのアップロード](#) - はじめて使用する方に
- [ファイルのダウンロード](#) - ジョブの表示とダウンロード
- [変換設定](#) - ファイル変換の自動化
- [ファイルの検索](#) - ファイルの見つけ方
- [ギャラリーでの作業](#) - 収集と共有
- [アイテムのプロパティの取得](#) - ファイルに関する情報の表示と編集
- [キーワードの追加](#) - 検索をより使いやすく
- [フォルダでの作業](#) - 整理

このリリースの新機能

Portfolioウェブクライアントはバージョン9.0で全く新しくなりました。

ウェブクライアントは、Portfolio

Server（ライセンスが必要）によって提供される、カタログへのウェブベースの接続を提供します。これにより、デスクトップに特殊なアセット管理ソフトウェアをインストールせずに、ユーザーへ簡単に配備することが可能になります。Portfolioウェブクライアントのユーザーは、メディア処理タスクを毎日自動化でき、同様に最も一般的なPortfolio機能にアクセスすることができます。

- すぐれた検索およびダウンロード機能
- 監視対象のフォルダへのファイルのアップロード
- 監視対象のフォルダ内のディスクにおけるファイルの整理
- バッチ変換ファイル
- メタデータの入力および埋め込み

Portfolioウェブクライアントは以下の新機能をウェブにもたらしめます。

- Adobe Flexベース、Flashインターフェイスは、インストールする特別なソフトウェアがないことを意味します。
- 構成可能なアクセスレベルにより、ユーザーは必要なことだけを行うためにアクセスします。
- すぐれたデスクトップ同様の環境で、インターフェイス内でドラッグアンドドロップで簡単に作業が行えます。
- ウェブ経由でログインし、アクセス可能なすべてのカタログを一目で分かるように表示します。
- アイテムのプロキシをドラッグアンドドロップすることで、スクロールする時間を削減し、大きなアイテムセットにナビゲートします。
- インターフェイスの一部を非表示にし、画面を最大限に利用してイメージを表示します。
- カタログ化されたアイテムを「グリッド」で表示して、「リスト」表示で簡単に並べ替えおよび比較ができます。
- メインウィンドウの「グリッド」表示で、3つの異なったサイズから選択します。
- 簡単にファイルを移動およびアップロードして、オートシンクフォルダをカタログ化します。
- オートシンクサブフォルダの完全な管理は、完全なリモートファイル管理（サブフォルダの追加、削除、再組織化、および名前変更）をユーザーに提供します。
- メタデータのフィールドのみを、必要なときにいつでも簡単に確認できます。
- バッチ内でメタデータを編集、置き換えおよび削除します。
- 複数の検索条件にアクセスします。これには、簡単な検索のために「スマートギャラリー」として保存する機能を含みます。
- すべてのユーザーは「プライベートギャラリー」を保存して、お気に入りや最もアクセス頻度の高いファイルおよびプロジェクトを整理できます。
- 管理者が構成可能な「クイック検索」によって、一貫性のある検索結果が得られます。
- 個別またはバッチ内で、1度の更新でアイテムのプロパティおよびメタデータの表示、編集および埋め込みを行うことで、時間を節約します。
- バッチ変換、名前変更、および
 - 1つのzipアーカイブとしてファイルをダウンロードし、貴重なダウンロード時間を削減できます。
 - ウェブ上で、オリジナルをリモートで編集します。
- 「ジョブ」ダイアログによって、サーバー上で簡単に操作のステータスが確認でき、必要に応じてファイルをダウンロードできます。

Portfolio 9.5ウェブクライアントはより強力で使いやすくなりました。

ウェブクライアントは、Portfolio

Serverのカタログをウェブベース接続で管理することを可能にしました。これにより、

特別なアセット管理ソフトウェアをインストールしなくても使用することができます。Portfolioウェブクライアントは、

日常的に行われる編集作業の自動化および、よく使われるPortfolioの機能にアクセスすることができます。

- 高度な検索およびダウンロード機能
- 監視フォルダへのアップロード
- ディスクの監視フォルダ内のファイルを管理
- ファイルのバッチ変換
- メタデータの入力と埋め込み

Portfolioウェブクライアントには次の新機能が追加されています:

- **フラグアイテム:**
ギャラリーまたはアイテムを移動しなくても、アセットに印をつけることができます。
- **オーガナイザでのカタログ追加:**
現在のセッション中にユーザがカタログに追加したアセットを表示します。
- **単独アイテムのダウンロード:**
単独アイテムはZIP圧縮および解凍しなくてもダウンロードできます。
- **単独アイテムのリネーム:**
バッチのリネーム処理をしなくても、プロパティパネルで名前を変更できます。
- **メニューの最適化:** メインメニューの名前が更新され、一部のサブメニューは削除されました。
- **キーボードショートカットおよびショートカットメニュー:**
よく使う機能にショートカットおよび右クリックでのコンテキストメニューをサポートしました。
- **ログインの進化:**
単独カタログのユーザの場合、カタログが自動的に開き、初めのページが表示されます。
- **最後のユーザを記憶:**
最後に使用したユーザの情報（ユーザ名、言語、ギャラリー表示、ページサイズ、表示パネル）はブラウザに記憶されます。毎回セッションを開始する度に、設定をする必要がなくなります。
- **プレビュー表示モード:**
プレビュー表示モードでは、単独イメージをできるだけ大きなサイズで表示し、ズーム、パン、ダウンロードを1クリックで実現できます。
- **プレビューのストリーミング:** プレビューファイルが保管される場所へユーザがアクセスできない場合も、Portfolio Serverはプレビューをストリーミングして、高品質のプレビューを表示できます。

はじめに

Portfolioウェブクライアントは、デジタルファイルに関する情報を、扱いやすい視覚的なカタログに保存することによってファイルを整理するのに役立ちます。ファイルを探すのに深い階層のフォルダを探したり、必要な画像を見つけるために文書を次から次へと開いたりする代わりに、サムネールの大きさのプレビューをすばやく参照したり、Portfolioウェブクライアントの強力な検索エンジンを使用して必要なアイテムの検索を実行したりできます。

カタログ:Portfolioでファイルの検索、プレビュー、およびトラッキングするには、カタログにファイルをアップロードする必要があります。

- [カタログへのアイテムのアップロード](#)

カスタマイズ:ギャラリーおよび表示オプションで設定した方法でカタログのアイテムを表示します。

- [新しいギャラリーの作成](#)
- [メインウィンドウの表示オプション](#)

アクセス:Portfolio Serverのファイルをプレビュー、ダウンロード、および変換します。

- [アイテムのプレビュー](#)
- [ファイルのダウンロード](#)

整理:Portfolioウェブクライアントを使用して、キーワード、説明、その他のカスタムデータを追加することにより、ファイルをグループ化、整理、およびカテゴリ化することができます。

- [キーワード](#)
- [アイテムのプロパティの編集](#)

検索:検索するカタログファイル名の単語またはフレーズを入力すると、直ちにアクセスできます。入力した複数の検索条件はPortfolioに自動的に保存されます。

- [ファイルを検索](#)
- [クイック検索](#)
- [「検索」ツールの使用](#)

Portfolioのインストール

Portfolio ウェブクライアントは、Adobe Flash 10がインストールされている対応ウェブブラウザで接続をおこなうため、使用するために別途ソフトウェアをインストールする必要はありません。

AdobeのFlash

Playerのインストールについては、次のアドレスを参照してください。 <http://www.adobe.com/products/flashplayer/>

また、Portfolioの管理者はPortfolio

Server上のカタログに適切なアクセス権を設定する必要があります。カタログのメンバーに登録されると、そのカタログにPortfolioウェブクライアントからアクセスできるようになります。

システム要件

最新Portfolio Serverの情報については、Extensisのウェブサイト参照してください:

<http://www.extensis.com/en/support/documentation/?fs=/en/support/documentation/portfolio/>.

または、国内販売代理店のサイトをご覧ください:

<http://www.swtoo.com/product/extensis/>.

Portfolio Serverへの接続

Portfolio Serverに接続するには、Portfolio Serverの管理者からアクセス情報を入手する必要があります。次のような情報です。

- Portfolio ServerのIP アドレスまたはサーバー名
- Portfolio Serverのポート番号
- ユーザー名
- パスワード

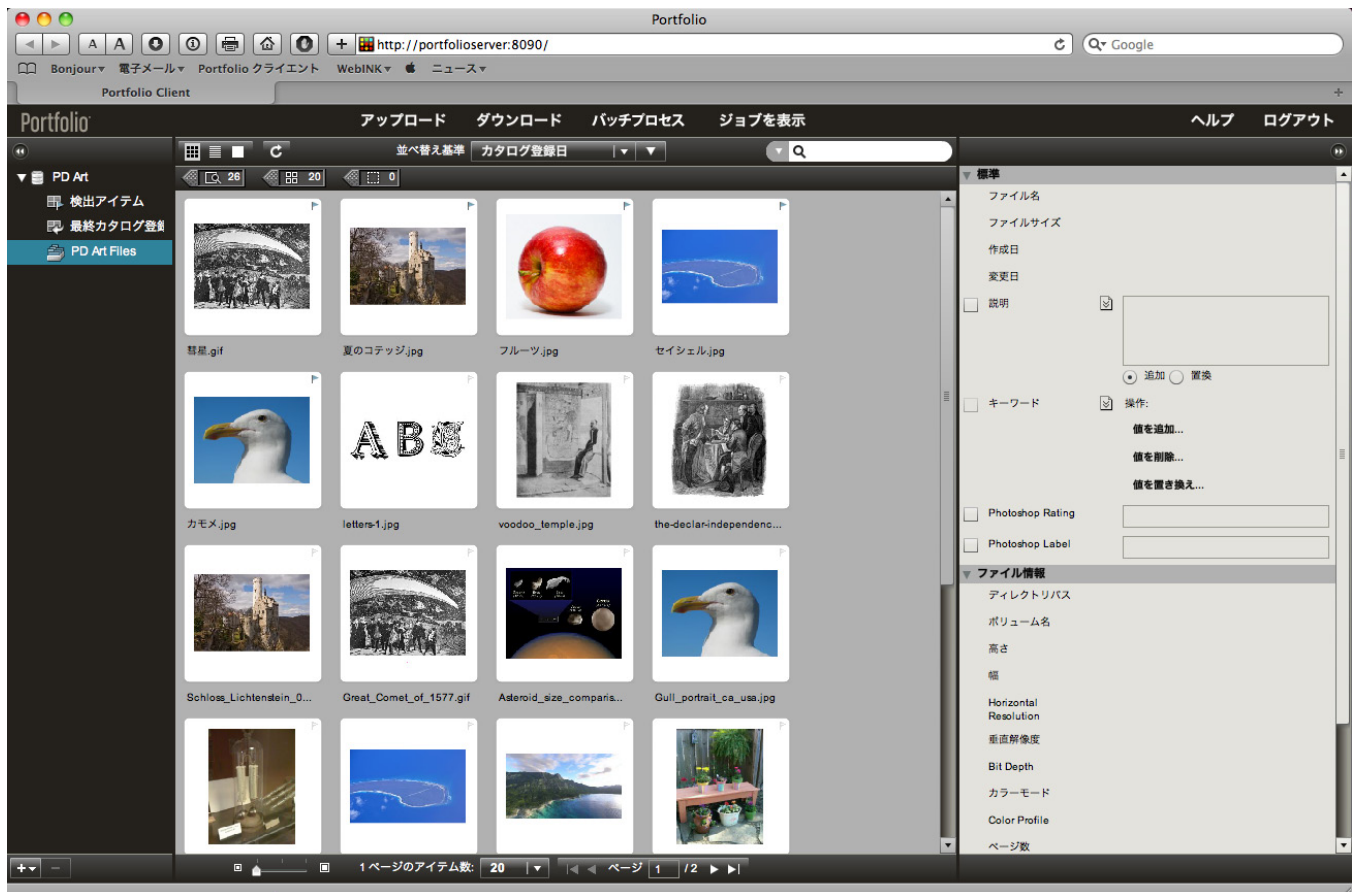
Portfolio Serverに接続するには、次の手順を行います。

1. サポートされているウェブブラウザを開きます。
2. アドレスフィールドにIPアドレスとサーバー名を入力し、コロンの上にポート番号を入力します。Portfolio Serverに接続するときのデフォルトポートは8090 です。たとえば、次のように入力します。
http://192.168.0.1:8090
http://localhost:8090
http://servername:8090
3. ドロップダウンメニューから、使用する言語を選択します。
4. ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

注意 ログインするにはアカウント名とパスワードを入力する必要があります。これらはユーザーが接続する前にPortfolio Serverの管理者から支給されているはずですが。

Portfolioウェブクライアントのインターフェイス

Portfolioウェブクライアントユーザーインターフェイスはファイルを素早くアップロード、検索、使用できるように設計されています。Portfolioウェブクライアントは「ツールバー」、「オーガナイザ」、「メインウィンドウ」、および「アイテムのプロパティ」の4つの主要なエリアからなります。



ツールバー

メインツールバーはPortfolioウェブクライアントインターフェイスの上部に表示されます。このツールバーにはカタログでよく使用する、ファイルのアップロードやダウンロード、メインウィンドウの表示の切り替え、ファイルの検索などの機能があります。

ウィンドウの下部のナビゲーションツールバーではさらに、メインウィンドウに表示するアイテムの数、表示するサムネールの大きさ、ギャラリーを追加/削除できるかなどを制御できます。

オーガナイザ パネル

左側のオーガナイザパネルには使用可能なすべてのカタログが表示されます。

カタログの内容を参照したい場合、カタログ名の左の三角をクリックします。これにより、カタログに含まれるギャラリーおよびアイテムを表示します。アイテムはフォルダ内に表示します。

メインウィンドウパネル

「メインウィンドウ」にはカタログのアイテムサムネールとデータが表示されます。「オーガナイザ」でカタログ、ギャラリー、またはフォルダを選択すると、メインウィンドウに選択したこれらに属するアイテムが表示されます。

上部のメインツールバーと下部のナビゲーションツールバーを使用すると、メインウィンドウにアイテムをどのように表示するかを調整できます。たとえば、次のものを制御できます。

- 1ページに表示されるアイテムの数
- ページのアイテムの並べ替え基準
- アイテムのグリッド表示やリスト表示を表示するかどうか
- グリッド表示内のサムネール画像のサイズ


メインウィンドウにはクイック検索とカタログのその他の検索の結果もすべて表示されます。

アイテムのプロパティ パネル

「アイテムのプロパティ」には、システムファイルとメインウィンドウで選択したアイテムのメタデータ情報が表示されます。「アイテムのプロパティ」に表示される多くのフィールドは、このペインで直接編集できます。

1つのアイテムを選択すると、そのアイテムのすべてのカタログ情報が「アイテムのプロパティ」に表示されます。編集したメタデータはすべて、選択したアイテムだけに適用されます。

複数のアイテムを選択すると、「アイテムのプロパティ」には選択したすべてのアイテムに共通のフィールドだけが表示されます。編集したメタデータは、選択したアイテムすべてに適用されます。

「アイテムのプロパティ」は、ツールバーの右側の二重矢印アイコン  を使用して表示/非表示にできます。

メインウィンドウの表示オプション

Portfolioウェブクライアントのメインウィンドウはアイテムを「グリッド」「リスト」「プレビュー」の3つの表示モード  で表示できます。

作業により、それぞれの表示モードには利点があり、用途によって使い分けします。

グリッド表示

グリッド表示では各アイテムの小さなサムネールが表示され、画像の下にそのアイテムのデータが少しだけ表示されます。サムネールは112x112ピクセル、256x256ピクセル、またはファイルプレビューを使用します。

リスト表示

リスト表示では、スクロール可能なファイルのリストで小さなサムネール、フラグステータス、ファイルパス、名前、変更日を含んでいます。

□ プレビューモード

プレビューモードは、グリッドまたはリスト表示で選択したアイテムを拡大してプレビュー表示します。また、ズームイン、ズームアウト、ファイルのダウンロード、ファイルのメタデータ表示、選択対象の他のファイルをプレビュー、選択対象のスライドショーなどができます。

プレビューモードで表示するには、プレビューモードアイコンをクリックまたは、グリッド/リスト表示でアイテムをダブルクリックします。

複数アイテムの選択

グリッド/リスト表示でアイテムをクリックします。次にShiftキーを押しながら、別のアイテムをクリックし選択範囲を決定します。Commandキー（Mac）またはControlキー（Win）を押しながらクリックすると、アイテムを個別に選択できます。

プレビュー

プレビューは必要に応じて自動的に生成されます。各カタログごとのプレビューの画像サイズの最大値は、Portfolio Server Admin Webインターフェイス内の「カタログ」で設定できます。

ファイルの種類によっては、サムネールやプレビュー画像をサポートしていません。この場合、代わりにファイルのアイコンが表示されます。

ナビゲーションボタン

メインウィンドウの下部にあるナビゲーションボタンによって、メインウィンドウのページに表示されるアイテムの数と次ページへの移動を制御できます。



「1ページのアイテム数」ドロップダウンメニューでメインウィンドウの各ページに表示されるアイテムの数1ページあたりを20、50、または100個の間で変更できます。

次のページング制御によってメインウィンドウの複数のページを行き来することができます。

次のページ移動ボタンを押すと、メインウィンドウのページを移動できます。最初のページ、1ページ戻る、1ページ進む、最後のページまたは、特定のページを入力することで、ページ移動できます。

アイテムのプレビュー

Portfolio

ウェブクライアントはメインウィンドウにフルサイズのプレビューをグリッドまたはリスト表示から表示できます。

グリッド表示の場合、サイズスライダーを一番右に移動すると大きいプレビューを表示します。



通常のグリッド表示のオプションは利用可能です。

グリッドまたはリスト表示で単独または複数アイテムを選択してからプレビューモードに切り替えられます。プレビューモードで表示するには次の操作を行います：

- アイテムをダブルクリックします。
- 複数アイテムを選択し、ダブルクリックします。
- アイテムを選択し、プレビューモードアイコンをクリックします。 □

フォルダまたはギャラリー内のすべてのアイテムをプレビューするには、オーガナイザで選択し、プレビューモードアイコンをクリックします。

プレビューモードの操作

プレビューモードに入ると、メインウィンドウには大きなプレビューが表示されます。マウスを移動すると、プレビューコントロールが表示されます。これらはマウスの移動を停止すると隠れます。これらの機能はショートカットからアクセスすることもできます。



- A** 閉じる プレビューモードを終了し、前の表示に戻ります。
ショートカット: Esc
- B** 拡大縮小 プレビューの拡大縮小。拡大した場合、ドラッグしてパンをすることができます。
ショートカット: + (拡大)、- (縮小)、0 (全体表示)
- C** 画像 画像プレビュー
- D** フラグ フラグをつけた画像はフラグアイテムのギャラリーに追加されます。
ショートカット: B
- E** ダウンロード 作業システムにファイルをダウンロードします。
- F** 詳細情報 画像の詳細情報を表示/隠します
- G** プレイヤー 画像を移動またはスライドショーを開始/停止します。
ショートカット: Home (最初の画像へ)、左矢印 (前へ)、スペース (スライドショーの再生/停止)、右矢印 (後へ)、End (最後の画像へ)
- H** スライド プレビューモードで利用可能な画像のサムネイルを表示します。画像をプレビューするにはクリックします。

ファイルのカタログ化

カタログにアイテムを追加する方法はいくつかあります。

Portfolioウェブクライアントでは、アイテムはクライアントのブラウザから直接ファイルサーバー上のフォルダにアップロードされます。このフォルダは、カタログ管理者がPortfolioデスクトップクライアントを使用してオートシンクフォルダとして追加している必要があります。

Portfolio

Serverによって監視されているネットワーク上に直接配置するか、Portfolioデスクトップクライアントでカタログ化することによって、フォルダを追加することもできます。

カタログへアイテムをアップロード

ウェブクライアントを使ってPortfolio

Serverにファイルをアップロードするには権限が必要です。ウェブクライアントでアイテムをアップロードすると、ファイルは選択したフォルダにアップロードされPortfolio Serverによってカタログ化されます。

Portfolioウェブクライアントでアイテムをアップロードするには、次の手順で行います：

1. [ウェブクライアントを使ってPortfolio Server に接続](#)
2. 「オーガナイザ」でファイルをアップロードするカタログを選択します。カタログにファイルをアップロードするには適切なアクセスレベルが必要です。
3. カatalog名の左の三角をクリックするとカタログ内のフォルダが表示されます。
4. ファイルをアップロードするフォルダを選択します。
5. ツールバーで「アップロード」をクリックします。
6. アップロードするファイルを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
7. **開く**
ボタンを使用して、選択したファイルをアップロードします。ファイルのアップロード状態がナビゲーションツールバーのメインウィンドウの下部に表示されます。ファイルのアップロード状態についての詳細なレポートについては、[「ジョブを表示」](#)ダイアログを参照してください。

注意: 「アップロード」ボタンを有効にするには、アップロード先のフォルダを選択する必要があります。

カタログからアイテムを削除

カタログ内のアイテムを削除する方法は3つあります。これらの方法の違いを知っておくことが重要です。たとえば、次のような場合です。

- ディスクからのオリジナルファイルの削除
- カatalogからのアイテムの削除
- ギャラリーからのアイテムの削除

これらのオプションの主な違いは、カタログ、ギャラリー、フォルダという、アイテム選択のソースの違いです。



メインウィンドウの左下に「削除」ボタンがあり、メインウィンドウでアイテムが選択されたときだけ表示されます。

ディスクからのオリジナルファイルの削除

ディスクからオリジナルファイルを削除すると、ファイルを削除するだけでなくそのファイルへのすべてのカタログ参照も削除されます。このオプションを使用する場合、ファイルを間違えて削除しないよう注意が必要です。ディスクからオリジナルファイルを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログを選択します。
2. ファイルが含まれるフォルダを選択します。
3. メインウィンドウで、ディスクからオリジナルを削除したいファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の「**削除 (-)**」ボタンをクリックします。
5. 「**ディスクから削除**」をクリックします。

カタログからのアイテムの削除

カタログからアイテムを削除してもファイルはカタログからだけ削除され、オリジナルファイルには影響しません。

注意: オリジナルファイルがPortfolio Serverが監視するフォルダに置かれている場合、Portfolio Serverを使用してそのアイテムを再びカタログに追加することができます。このファイルは、対象のアイテムがPortfolio Serverによって監視されていない別の場所からPortfolioデスクトップクライアントを使用してカタログ化されている場合には恒久的に削除されます。

カタログからアイテムを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログを選択します。
2. ファイルが含まれるフォルダまたはギャラリーを選択します。
3. メインウィンドウでカタログから削除するファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の「**(削除 (-))**」ボタンをクリックします。
5. 「**カタログから削除**」をクリックします。

ギャラリーからのアイテムの削除

ギャラリーからアイテムを削除してもカタログからそのアイテムは削除されません。オリジナルのファイルには影響はありません。ファイルのレコードが削除されます。

ギャラリーからアイテムを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログを選択します。
2. ファイルが含まれるギャラリーを選択します。
3. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを選択します。
4. メインウィンドウの左下の「**削除 (-)**」ボタンをクリックします。
5. 「**ギャラリーから削除**」をクリックします。

カタログ

アクセスレベル

Portfolio

Serverの管理者がカタログごとに設定できる組み込みのアクセスレベルは以下の4つです。アクセスレベルによってユーザーが対象のカタログで使用できる機能が決まります。

たとえば、ユーザーがあるカタログに発行者アクセスレベルの権限があり、他のカタログには閲覧者アクセスレベルの権限があるということがあります。各ユーザーのアクセスレベルについては管理者に確認してください。

注意:ユーザーがあるカタログのメンバである場合、そのユーザーはウェブクライアントまたはデスクトップクライアントを使用してそのカタログにアクセスできます。

カタログ管理者 -

これは最上位レベルのユーザーアクセス権であり、このレベルでは利用可能なすべての機能にアクセスできます。カタログ管理者のアクセスレベルはPortfolio Server

Adminの権限とは異なります。後者の場合、すべてのサーバー設定にアクセスできます。カタログ管理者は、Portfolio

デスクトップクライアントの、カスタムフィールドの編集、メタデータマッピング、オートシンクのフォルダ設定などの高度な機能にアクセスできます。

発行者 -

発行者の権限がある場合、カタログにアイテムをアップロードしたり、そこから削除したり、また、カタログ内のすべてのメタデータを更新したりできます。発行者はまたギャラリーを作成できます。

編集者 -

編集者アクセスレベルのユーザーは、キーワードやカスタムフィールド値を入力するなどのメタデータの編集作業を行うことができます。編集者は、ファイルに組み込むためにマッピングされているフィールドにメタデータを入力することはできません。

閲覧者 -

閲覧者レベルのアクセス権がある場合、カタログのアイテムを閲覧のみできます。カタログのアイテムにメタデータを追加、削除、編集することはできません。

Portfolio Server Admin

はユーザーにPortfolioウェブクライアントの他の機能へのアクセス権を与えることができます。この権限には次のものがあります。

- 「オリジナルをダウンロード」 -
Portfolioウェブクライアントを使用してカタログのオリジナルファイルをダウンロードできる権限です。
- 「変換設定をカスタマイズ」 -
ファイル変換ダイアログにアクセスする権限です。このダイアログではオリジナルファイルをダウンロードするときにファイル形式とその他の設定を指定できます。
- 「変換プリセットを管理」 -
これを使用可能にするとユーザーはファイル変換ダイアログでのカスタム設定をプリセットとして保存することができ、次回に使用することができます。プリセットにはこの権限を持つすべてのユーザーがアクセスできます。

仮レコード

通常、Portfolioはカタログ化する各ファイルごとにエントリ（レコードまたはアイテムともいう）を作成します。しかし、存在しないファイル（まだ受信または作成していないもの）についてはレコードを作成することができます。これを仮レコードといいます。仮レコードは、カタログに含める予定だが実際にはまだ持っていないファイルの代用と考えてください。

仮レコードはPortfolio

デスクトップクライアントでのみ作成でき、Portfolioウェブクライアントでこのレコードを閲覧および編集できます。

仮レコードはPortfolioカタログ内の他のアイテムとまったく同様に動作します。仮レコードにキーワードを割り当てたり、説明を追加したり、検索したりできます。ただ1つ違うのは、仮レコードにはまだ特定のメディアファイルが関連付けられていないということです。そこで仮レコードをフォルダ間で移動することはできません。

将来の任意の時点で、Portfolio

デスクトップクライアントを使用して仮レコードをディスク上の実際のファイルに結びつけ、通常のPortfolioカタログアイテムにすることができます。

ファイルを検索

Portfolioウェブクライアントでファイルを検索する方法は2つあります。

クイック検索を使用して、ファイルのカタログをすばやく検索できます。クイック検索では、よく使用するいくつかのカタログフィールドだけが検索され、結果をすぐに表示します。

標準の検索は、Portfolio

Serverが追跡するいずれかのデータ型に基づいてカタログを検索するようにカスタマイズできます。「検索」ダイアログでは検索対象を微調整でき、検索パラメータに完全に一致したアイテムだけを画面に表示できます。

クイック検索


Portfolioウェブクライアントで最も簡単に使用できる検索ツールはクイック検索です。クイック検索はメインウィンドウの上部のツールバーにあり、デフォルトでは3つのフィールド「ファイル名」、「説明」、「キーワード」を検索します。



クイック検索では「オーガナイザ」で選択したものだけを検索します。カタログを選択するとそのカタログ全体が検索されますが、ギャラリーを選択するとそのギャラリー内のアイテムだけが検索されます。

クイック検索を行うには

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. 単語またはフレーズを「クイック検索」ボックスに入力して、Enterキーを押します。
3. メインウィンドウに一致したアイテムが表示されます。

メインウィンドウのクイック検索の結果をクリアするには、「クイック検索」ボックスの右にある「結果をクリア (x)」ボタンをクリックします。

検索ツールの使用

検索を使用して、カタログの任意のフィールドのデータを対象にファイルを検索することができます。この検索ツールはクイック検索ツールよりはるかに柔軟であり、高い精度で検索できます。クイック検索ではファイルの3つの定数のパラメータについて検索を行いましたが、検索ツールでは5つまでのパラメータについて検索できます。




A 並び替え基準	メインウィンドウの並び替えを選択します	G 検索項目	検索フィールドとマッチする値を入力します
B 並び順	クリックすると並び順を上下逆にできます。	H 条件の追加	検索条件を追加します。
C 表示/隠す	検索のオプションを表示または隠します	I 条件の削除	検索条件を削除します。
D クイック検索フィールド		J ブール値	どのように検索するかを設定します。 : and は両方マッチする必要がある、 or はいずれかの項目がマッチする必要があります
E 検索フィールド	検索するフィールドを選びます	K スマートギャラリーとして保存	指定された条件でスマートギャラリーを作成します。
F 検索項目	値を比較する方法。	L 検索ボタン	指定された条件で検索します。

検索ツールの結果はスマートギャラリーの検索条件にすぐに変換できます。スマートギャラリーについては「ギャラリー」セクションを参照してください。

検索ツールでは「オーガナイザ」で選択したアイテムだけが検索されます。

「検索ツール」を使ってアイテムを検索するには

- 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
- 「検索ツール」アイコン  をクリックします。
- ドロップダウンメニューから、検索するフィールドを選択します。
- 2つ目のドロップダウンメニューから、検索に使用する演算子を選択します。
- テキストボックスに検索する語を入力します。選択したフィールドタイプと検索演算子によっては検索する語が必要ないこともあります。たとえば、**存在する**検索演算子を使用して検索する場合、選択したフィールドに在るデータを含むファイルだけを対象とするので検索語は必要ありません。
- さらに的を絞った検索パラメータが必要な場合、最初のパラメータの右の**追加ボタン「(+)**」をクリックして追加のパラメータを開きます。上記の手順を繰り返して、最大5つの検索パラメータを追加できます。
- 検索の準備が整ったとき、「**検索**」ボタンをクリックするか、**Enter/Return**キーを押します。

これらのパラメータを頻繁に使用してカタログを検索する場合、「**スマートギャラリーとして保存**」を使用して検索条件をスマートギャラリーとして保存します。スマートギャラリーを開くたびに、自動的にこれらの検索パラメータを使用してファイルのカタログが検索されます。

検索条件オプション


フィールド名	検索条件
カメラメーカー	画像を作成したカメラのメーカーを含むカスタムテキストフィールド
カメラモデル	画像を作成したカメラのモデルを含むカスタムテキストフィールド
カタログ登録日	アイテムが最初にPortfolioにカタログ化された日付と時刻
カタログ登録者	アイテムをPortfolioにカタログ化したユーザーID
設定日*	アイテムが最後に変更された日付と時刻
設定者*	アイテムを最後に変更したユーザーID
カラーモード	カラーモード:不明、白&黒、グレースケール、RGB、CMYK、YUV、Lab、YCCK
著作権	著作権情報を含むカスタムテキストフィールド
著作	著作権状況の情報を含むカスタムテキストフィールド
作成日	オリジナルファイルが作成された日付
クリエイター (Mac)	アイテムの4文字のファイルクリエイター (Windowsでカタログ化された場合は空白)
説明	アイテムのファイルの説明
説明作成者	説明を書いたユーザーIDを含むカスタムテキストフィールド
ディレクトリパス	アイテムのフルディレクトリパス (ファイル名は含まない)
ドキュメントのタイトル	ドキュメントのタイトルを含むカスタムテキストフィールド
拡張子	アイテムの3文字のファイル拡張子
ファイルサイズ	アイテムのファイルサイズ
ファイル名	アイテムの名前
ファイルタイプ (Mac)	アイテムの4文字のファイルタイプ (Windowsでカタログ化された場合は空白)
高さ	アイテムの高さ、ピクセル数 (サムネールが抽出された場合は空白)
水平解像度	アイテムの水平解像度、dpi
キーワード	アイテムに割り当てられた任意のキーワード
変更日	オリジナルファイルが最後に変更された日付
ページ数	特定のページアイテム数
パス	アイテムのファイルパス (ロケーション)、ファイル名を含む
ルーティング先	アイテムが送付されたユーザーのIDを含むカスタムテキストフィールド
ショートファイル名 (Win)	16ビットのDOSパスとファイル名
サムネールのサイズ	アイテムのサムネールサイズ (ピクセル) :32 (アイコン)、64、112、256。
垂直解像度	アイテムの垂直解像度、dpi
ボリューム名	アイテムの存在する物理ドライブまたはディスク
透かし付き	指定された透かし付きのアイテム
透かしのURL	指定された透かしのURL付きアイテム
Webサイト	Webアドレスを含む「URLの設定」フィールド
幅	アイテムの幅、ピクセル数 (サムネールが抽出された場合は空白)
AppleTalkゾーン (Mac)	アイテムファイルが存在するAppleTalkゾーン (Windowsでカタログ化された場合は空白)
カスタムフィールド	現在のカタログで作成されたすべてのカスタムフィールド
EXIF、IPTC、XMPフィールド	このメタデータのための特別カスタムフィールドのいずれか

検索結果のクリア


クイック検索を使用する場合も検索機能を使用する場合も、結果をクリアする方法は複数あります。

デフォルトでは、検索結果をクリアすると「オーガナイザ」で現在選択されているカタログ、ギャラリー、またはフォルダの利用可能なアイテムの最初のページが表示されます。

メインウィンドウからクイック検索の結果をクリアするには

- 「オーガナイザ」で別の項目を選択します。
- 「クイック検索」ボックスの右にある「結果をクリア (x)」ボタンをクリックします。

メインウィンドウからクイック検索の結果をクリアするには

- 「オーガナイザ」で別の項目を選択します。
- 検索エリアの右にある「キャンセル」ボタンをクリックします。

ギャラリー

ギャラリーには、カタログ内のすべてのアイテム、またはそのサブセットを表示できます。

ギャラリーは、カタログ内の特定のファイルのみを整理および表示するのに適した方法です。たとえば、写真家は、作品全体を含むカタログを作成し、あるギャラリーでは肖像写真のみを表示し、別のギャラリーには風景写真のみを含めることができます。

公開、非公開、および読み取り専用の設定


ギャラリーを作成するとき、それを**パブリック（公開）**（カタログのすべてのユーザーが使用できる）または**プライベート（非公開）**（その人だけが使用できる）に設定できます。ギャラリーを「パブリック」に設定した場合、それを他のユーザーにとって**閲覧専用**に設定することで他のユーザーのそのギャラリーへの変更を制限することができます。


ギャラリーのアクセスレベルを変更する方法については、[ギャラリーを公開またはプライベートに設定](#)を参照してください。


スマートギャラリー


スマートギャラリーを開くと、Portfolioのカタログが自動的に検索され表示する適切なファイルが選択されます。スマートギャラリーを、そのカタログに保存済みのメタデータのファイルを検索して選択するように設定することができます。スマートギャラリーを作成して使用する場合、詳細は[スマートギャラリーの作成](#)を参照してください。


ギャラリーアイコンの参照


 プライベートギャラリー

 パブリックギャラリー

 パブリック、閲覧専用ギャラリー

 プライベートスマートギャラリー

 パブリックスマートギャラリー

 閲覧専用スマートギャラリー

新しいギャラリーの作成

注意

新しいギャラリーを作成するには発行者以上のアクセスレベルが必要です。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

カタログに新しいギャラリーを作成するには、次の手順を行います:

1. 「オーガナイザ」でカタログを選択します。
2. 「オーガナイザ」の左下にある**追加ボタン「(+)**」をクリックし、メニューから**「新規ギャラリー」**を選択します。
3. テキストボックスにギャラリーの名前を入力します。
4. ギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - 「**パブリック**」ギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。
 - 「**プライベート**」ギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - 「**閲覧専用**」オプションでは、他のユーザーが公開ギャラリーを変更することを制限します。ユーザー本人はギャラリーの内容を変更できます。
5. 「**保存**」をクリックします。新しいギャラリーが「オーガナイザ」に表示されます。

ギャラリーへのアイテムのアップロード

ユーザーがそのギャラリーに変更のための適切な権限とアクセスレベルをもっている場合、アイテムをそのギャラリーに追加できます。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

注意: ギャラリーの所有者によってそのギャラリーが閲覧専用設定されている場合、所有者でないユーザーはそのギャラリーにアイテムを追加することはできません。

ギャラリーにアイテムを追加するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. カタログまたは別のギャラリーからアイテムのサムネールを「オーガナイザ」のギャラリーアイコンにドラッグします。

注意: カタログ内のギャラリーにだけアイテムを追加できます。

ギャラリーからのアイテムの削除

アイテムがギャラリーから削除される場合、現在のギャラリーから削除されるだけで、カタログからは削除されません。ある画像セットのギャラリーを作成し、他の画像とともに表示したくない画像が含まれていることに気が付いた場合、ギャラリー内の不要な画像を単純に削除します。

注意:

新しいアイテムを削除するには発行者以上のアクセスレベルが必要です。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

注意: ギャラリーの所有者がそのギャラリーを読み取り専用状態に設定した場合、他のユーザーはそのギャラリーからファイルを削除できません。

カタログから削除せずに、ギャラリーからアイテムを削除するには

1. 「オーガナイザ」でギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウでギャラリーから削除するファイルを1つ以上選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. メインウィンドウの左下の「**(削除 (-))**」ボタンをクリックします。
4. 「**ギャラリーから削除**」をクリックします。

注意:

スマートギャラリーからアイテムは削除できません。これはスマートギャラリーが検索結果を表示するためです。カタログでそのアイテムのメタデータが変更されているために、スマートギャラリーを開くたび結果が違うこともありえます。

ギャラリーの並べ替え

ギャラリーのファイルを並べ替えするには:

- ツールボックスのドロップダウンメニュー「並べ替え基準」から並べ替えに使用するフィールドを選択します。

デフォルトでは、ドロップダウンメニューで使用できるフィールドは次のフィールドの基本セットに限定されます。「ディレクトリパス」、「ファイルサイズ」、「ファイル名」、「アイテムID」、および「変更日」


ドロップダウンメニューからフィールドのリストを展開するには:

- 「並べ替え基準」メニューから「すべて表示」を選択します。

これによりカタログで利用可能なすべてのフィールドが表示されます。

フィールドの基本セットを復元するには:

- 「並べ替え基準」メニューから「標準的な並べ替え可能フィールドのみ表示」を選択します。これは「並べ替え基準」メニューリストの最後のアイテムです。

並べ替え基準は「並べ替え基準」メニューの右の「小から/大から」アイコン  をクリックすることで変更できます。

ギャラリーの削除

必要なくなったギャラリーは、カタログから削除できます。

注意:

新しいギャラリーを削除するには発行者以上のアクセスレベルが必要です。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

ギャラリーを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でギャラリーを選択します。
2. 「オーガナイザ」の右下の「削除 (-)」ボタンをクリックします。
3. 確認のため「OK」をクリックします。

ギャラリーの名前変更

ギャラリーの名前を変更するには:

1. 「オーガナイザ」で、ギャラリー名をダブルクリックします。
2. ダイアログボックスに新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

スマートギャラリーの作成

スマートギャラリーではギャラリーに検索ツールの結果が表示されます。スマートギャラリーはiTunes®のスマートプレイリストと同様に、同じパラメータを使用してカタログの検索を頻繁に行う場合に手軽に使用できます。

検索パラメータに適合した新しいアイテムがカタログに追加され、それらがスマートギャラリーに自動的に追加されます。

注意

アクセスレベルによっては新しいギャラリーを作成できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

新しいスマートギャラリーを作成するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログを選択します。
2. 「オーガナイザ」の左下にある追加ボタン「(+)」をクリックし、メニューから「新規スマートギャラリー」を選択します。検索ツールが表示されます。
3. 検索パラメータを入力します。詳しくは、[「検索」ツールの使用](#)をご覧ください。
4. 「スマートギャラリーとして保存」ボタンをクリックします。
5. テキストボックスにスマートギャラリーの名前を入力します。
6. スマートギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - 「パブリック」スマートギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。
 - 「プライベート」スマートギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - 「閲覧専用」オプションでは、他のユーザーがパブリックのスマートギャラリーを変更することを制限します。
7. 「保存」をクリックします。新しいスマートギャラリーが「オーガナイザ」に表示されます。

ギャラリーをパブリックまたはプライベートに設定

多くの人々が1つのカタログにアクセスする場合、ひとりのユーザーがアクセスするカタログにギャラリーを作成すると役立ちます。Portfolioの「パブリック」および「プライベート」の設定機能を使用して、ギャラリーを保護して自分だけが見れるようにしたり、またはパブリックに選択しても閲覧専用を設定し、自分だけを変更するように設定できます。

注意: 新しいギャラリーを作成するには発行者以上の[アクセスレベル](#)が必要です。

ギャラリーを作成するとき、それをパブリックまたはプライベートに設定できます。パブリックギャラリーでは、カタログのその他のメンバがそのギャラリーを変更できるかどうかを設定できます。

ギャラリーのプライバシー設定を変更するには

1. 「オーガナイザ」で、ギャラリー名をダブルクリックします。
2. ギャラリーのプライバシー設定を選択します。
 - 「パブリック」ギャラリーの場合、カタログのすべてのメンバがそれを使用できます。
 - 「プライベート」ギャラリーの場合、そのユーザーだけが使用できます。
 - 「閲覧専用」オプションでは、他のユーザーが公開ギャラリーを変更することを制限します。ユーザー本人はギャラリーの内容を変更できます。
3. 「保存」をクリックします。

Portfolio ウェブクライアントでの ファイルの管理

Portfolioウェブクライアントを使用して、ディスク上の1つのフォルダから別のフォルダにファイルを移動したり、ファイルをダウンロードしたり、ファイルタイプを変換したりなど多くのことができます。

アイテムのプロパティの表示

Portfolioは、カタログ化するすべてのファイルに関する非常に詳細な情報を保存します。この情報には、カタログ作成中に収集するデータとして、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像寸法、ファイルタイプなどが含まれます。また、Portfolioアイテムには、追加可能なメタデータ情報（たとえば説明やキーワード）や、カスタムフィールドを使用して追加できるその他のデータも含まれます。こうした情報は「アイテムのプロパティ」に表示されます。

Portfolioウェブクライアントでは、キーワードやメタデータの入力などのすべてのデータ入力タスクは「アイテムのプロパティ」で行われます。

アイテムのプロパティを表示するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つのサムネールを選択します。アイテムのプロパティが「アイテムのプロパティ」に表示されます。

フィールドタイプの理解

Portfolio

カタログ内のデータは複数のフィールドに記録されます。フィールドは保存できるデータ型によって複数のタイプに分けられます。Portfolioウェブクライアントでは、アイテムのプロパティを追加したり編集したりするためにフィールドタイプをよく理解しておく必要があります。

「日付/時刻」

「日付/時刻」フィールドタイプでは、アイテムの日付か時刻、またはその両方を入力できます。カタログの管理者は時刻の値を表示しないように選択できます。「日付/時刻」フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

注意:「日付/時刻」フィールドを検索する場合は、かならず時刻の存在が仮定されます。つまり、もし（アイテムをカタログ化する際のソースファイルからの抽出により、またはフィールドに時刻を入力することにより）時刻の値がフィールドに入力されて、またカタログの管理者によってそのフィールドが隠されていても、検索が行われる場合にはPortfolioは時刻を検索に含めます。例:「5/20/09」で検索しても「5/20/09 3:00 pm」を含むアイテムは見つかりません。なぜなら、検索の要求は「5/20/09 12:00:00」と解釈されるからです。時刻が表示されていない場合でも、これは変わりません。

「小数」

「小数」フィールドタイプでは、最大で小数点以下第8位までの精度を持つ数値を入力できます。「小数」フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

「数値」

通常の数値については、「数値」フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

「テキスト」


「テキスト」フィールドタイプは1行のテキストのためにデザインされています。「テキスト」フィールドの長さは1から249文字までで、複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。このタイプのフィールドは複数行のテキストを含むことはできません（複数行のテキストには「テキストブロック」を使用）。

「テキストブロック」

「テキストブロック」は32K以内の任意の長さの複数行にわたるフィールドです。このフィールドタイプを使えば、アイテムに複数行のテキストを追加できます。改行やキャリッジリターンを含めることもできます。「テキストブロック」内の単語はインデックス化されるので、これらの長いフィールドでも極めて速く検索することができます。「テキストブロック」フィールドは並べ替えやフレーズでの検索はできません。説明フィールドは「テキストブロック」フィールドの例です。

アイテムのプロパティの編集

Portfolioウェブクライアントではカタログ内のアイテムのメタデータとプロパティを編集できます。

フィールド値を編集すると、Portfolioのカタログレコードが更新されます。また、埋め込みメタデータをサポートするファイルタイプでは、プロパティの変更はオリジナルファイルに埋め込まれます。組み込み可能なアイコンによって、メタデータの埋め込みをサポートするフィールドには埋め込み可能を示すアイコンが指定されています。 

Portfolio

ServerはXMPメタデータコンテナをもつその他のファイルのほかにも、JPG、TIFF、およびPSDファイルへのメタデータの直接の埋め込みをサポートします。詳しくは、ファイル形式サポートリストを参照してください。

注意: PortfolioはPhotoshop XMP サイドカーファイルへの読み書きを行いません。

注意

アクセスレベルによってはアイテムのプロパティを編集できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

1つのアイテムのプロパティを編集するには

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウでアイテムのサムネールを1つ選択します。
3. 「プロパティ」で、更新するアイテムのメタデータを探します。フィールドは探しやすいようにグループ化されています。グループ内のアイテムを表示するには、そのグループ名の左にある三角をクリックして展開します。
4. 次の指示に従ってそのフィールドタイプのフィールド値を更新します。

編集するフィールドタイプ	操作手順	フィールドタイプの例
単一値フィールド	フィールドに文字を入力して、Enterキーを押します。	Photoshop ラベル
複数值フィールド	フィールドの下の追加ボタン「(+)」をクリックして新しい値を入力し、「更新」をクリックします。	キーワード
「テキストブロック」フィールド	テキストブロックを編集してフィールドの下の「設定」ボタンをクリックします。	説明

注意: 多くのフィールドは、事前に定義したアイテムのリストからの入力のみで制限できます。たとえば、Portfolioの管理者が「マスタキーワード」リストを、すべてのアセットについてキーワードの整合性を保つように設定しているとします。この場合、手動で新しい値を入力するかわりにドロップダウンリストから1つを選択します。

複数のアイテムのプロパティを編集するには

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「プロパティ」で、更新するアイテムメタデータを探します。フィールドは探しやすいようにグループ化されています。グループ内のアイテムを表示するには、そのグループ名の左の三角をクリックして展開します。
4. 次の指示に従ってフィールド値を更新します。フィールドを編集した場合、そのチェックボックスでその情報が更新されていることがわかります。
5. すべて更新した後に「アイテムのプロパティ」の下部の「送信」ボタンをクリックして変更を確定します。

編集するフィールドタイプ	操作手順	フィールドタイプの例
単一値フィールド	フィールドに新しい文字を入力して、「送信」ボタンを押します。	Photoshop ラベル
複数値フィールド	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「値を追加」リンクをクリックします。 2. テキストボックスに新しい値を入力し、テキストボックスの右にある追加ボタン「(+)」をクリックします。 3. 値を入力したら「更新」をクリックします。 4. 「アイテムのプロパティ」で「送信」をクリックします。 	キーワード
「テキストブロック」フィールド	テキストブロックを編集してフィールドの下の「追加」または「置換」ボタンをクリックします。	説明

注意: 多くのフィールドは、事前に定義したアイテムのリストからの入力のみで制限できます。たとえば、Portfolioの管理者が「マスターキーワード」リストを、すべてのアセットについてキーワードの整合性を保つように設定しているとします。この場合、手動で新しい値を入力するかわりにドロップダウンリストから1つを選択します。

更新の状態のチェック

一度に複数のアイテムを編集するとPortfolio

Serverに「ジョブ」が1つ送信されます。「送信」ボタンをクリックした後、アイテムのプロパティの変更を確認する場合、ツールバーの「ジョブを表示」リンクをクリックします。

ジョブの更新された状態がメインウィンドウの下部のナビゲーションバーにリストされます。

ファイルの移動と削除

Portfolioウェブクライアントからすべてのオリジナルファイルを移動および削除できます。

注意:

アクセスレベルによってはファイルを削除できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

ファイルを移動するには

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. ファイルを新しいフォルダにドラッグします。移動先のフォルダは現在の場所と同じカタログ内にある必要があります。

ファイルを削除するには

1. 「オーガナイザ」でフォルダを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. メインウィンドウの左下の「**(削除 (-))**」ボタンをクリックします。
4. ディスクからオリジナルファイルを削除するには「**ディスクから削除**」をクリックします。または、「**カタログから削除**」をクリックして、カタログからファイルを削除します。

新しいサブフォルダの作成

Portfolio

Serverによって管理されているフォルダ内のファイルを整理するために、Portfolioウェブクライアントで新しいサブフォルダを作成できます。これは、Windows のエクスプローラやMacintosh のFinderで新しいフォルダを作成するのと同じ要領で行います。

注意

アクセスレベルによっては新しいサブフォルダを作成できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

新しいサブフォルダを作成するには

1. 「オーガナイザ」で現在のフォルダを選択します。
2. 「オーガナイザ」の左下隅にある**追加ボタン「(+)**」をクリックしメニューから「**新規サブフォルダ**」を選択します。
3. 新しいフォルダに名前を付け、「**保存**」をクリックします。

「オーガナイザ」でサブフォルダを整理することができます。フォルダを移動するためにそのフォルダをクリックして目的の場所にドラッグします。この場合、フォルダは同じ監視フォルダの下の異なる場所に移動する必要があります。

自動化とウェブクライアント

Portfolioウェブクライアントにはワークフローをスピードアップするのに役立つ自動化機能が数多くあります。

- [プリセットの作成と使用](#)
- [ダウンロードでプリセットを実行](#)
- [「バッチ処理」でプリセットを実行](#)
- [ファイル検索を自動化するスマートギャラリーの作成](#)

キーワードとカスタムフィールド

キーワード

キーワードは、カタログ化されたファイルに割り当てることができる説明の単語またはフレーズで、ファイルをカテゴリ化したり分類したりするものです。たとえば、日没時の熱帯地方の海岸の画像があったとすると、砂浜、海岸、海、日没、熱帯、休暇、レクリエーション、アウトドアなどのキーワードをその画像に割り当てることができます。これらの単語は、画像を他の関連する画像とグループ化したり、ファイルを検索したりするのを容易にします。Portfolioでは、アイテムに割り当てることができるキーワードの数に制限はありません。

注意: これによりキーワードを何度も入力しなくてもすむようになります。

注意:

アクセスレベルによってはキーワードを更新できません。アクセス権については、Portfolioの管理者に確認してください。

カスタムフィールド

カスタムフィールドを使用すれば、カタログ化するアイテムに使用する任意の種類の情報（日付、数字、テキストブロック、またはURL）を保存することができ、ファイルの整理、カテゴリ化、および検索をより柔軟に行うことができます。

カスタムフィールドは、厳密には「キーワード」や「説明」ではない情報によってファイルを整理する場合、完璧に整理します。たとえば、カタログ化されたファイルに関連するウェブサイトのURLのフィールドを追加したり、デジタル写真のカタログに「写真家」のフィールドを追加したり、価格情報や品番を保存するフィールドを追加したりする場合があります。

カスタムフィールドには6つのタイプがあり、すべてのタイプがPortfolioウェブクライアントの「アイテムのプロパティ」で編集できます。

- 「**日付/時刻**」:日付または日付/時刻を入力します。たとえば、このフィールドタイプは、画像の発行日用のカスタムフィールドを作成するために使用できます。
- 「**小数**」:小数を含む数値を入力します。このフィールドタイプは、ストックされた画像価格のカスタムフィールドに役に立ちます。
- 「**数値**」:普通の数値を入力します。このフィールドタイプはカタログのパーツ番号や、品番に最適です。ただし、それらの番号は数字のみに限ります。
- 「**テキスト**」:1行のテキストを入力します。写真家やアーティストの名前など、多くのカスタムフィールドで使用できます。
- 「**テキストブロック**」:改行を含む、複数行のテキストを入力します。
- 「**URL**」:このフィールドタイプは、ウェブや他のURLアドレスに使用します。ギャラリー表示で表示できるアクティブハイパーリンクを作成できます。

カスタムフィールドデータの入力については、[アイテムのプロパティの編集](#)を参照してください。

キーワードの追加

Portfolioウェブクライアントの「アイテムのプロパティ」を使用して、キーワードをアイテムに追加できます。

注意: アイテムのカタログが作成されている場合もキーワードをそのアイテムに追加できます。これはPortfolioのフォルダに割り当てたカタログ化オプションによって異なります。Portfolioデスクトップクライアントを使用して、カタログ化オプションをフォルダに割り当てできます。

注意

アクセスレベルによってはキーワードを編集できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

キーワード追加の方法は、単一アイテムを選択したか複数アイテムを選択したかによって異なります。

キーワードを1つのアイテムに追加するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つのアイテムを選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。「追加」ボタン（アイコン）をクリックします。
4. 「プロパティの値」フィールドに新しいキーワードを入力します。管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
5. 「更新」をクリックします。

キーワードを複数のアイテムに追加するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。
4. キーワードフィールドの下の「値を追加」リンクをクリックします。
5. テキストボックスに新しい値を入力します。管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
6. テキストボックスの右にある追加ボタン「(+)」をクリックします。
7. 値を入力したら「更新」をクリックします。
8. 「アイテムのプロパティ」で「送信」をクリックします。
9. ツールバーで「ジョブを表示」リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの削除

注意

アクセスレベルによってはキーワードを編集できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

1つのアイテムからキーワードを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つのアイテムを選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。
4. リストからキーワードを選択してフィールドの下の削除ボタン「(-)」をクリックします。

複数のアイテムからキーワードを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。
4. 「キーワード」フィールドの下の「値を削除」リンクをクリックします。
5. テキストボックスに新しい値を入力します。管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
6. テキストボックスの右にある追加ボタン「(+)」をクリックします。
7. 値を入力したら「更新」をクリックします。
8. 「アイテムのプロパティ」で「送信」をクリックします。
9. ツールバーで「ジョブを表示」リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

複数のアイテムからすべてのキーワードを削除するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。
4. 「キーワード」フィールドの下の「**値を削除**」リンクをクリックします。
5. 「**すべての値を削除**」をクリックします。
6. 「アイテムのプロパティ」で「**送信**」をクリックします。
7. ツールバーで「**ジョブを表示**」リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードの置換

キーワードを変更したい場合、Portfolioウェブクライアントでは複数のアイテムを対象にそのキーワードを検索して新しいものと置き換えることができます。

たとえば、セダンやステーションワゴンなどを指定するのに一貫して「自動車」というキーワードを使用している場合、「値を置換」コマンドを使用して間違えて使用しているキーワードを置き換えることができます。

注意: 「キーワードの置換」コマンドは複数のアイテムを更新するときのみ使用できます。

注意

アクセスレベルによってはキーワードを編集できません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

複数のアイテムのキーファイルを置換するには:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「アイテムのプロパティ」で「キーワード」フィールドを特定します。
4. 「キーワード」フィールドの下の「**値を置換**」リンクをクリックします。
5. 「**次の対象**」テキストボックスに置き換えるキーワードを入力します。管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
6. 「**次に置換**」テキストボックスに新しいキーワードを入力します。管理者がマスタキーワードリストを定義している場合、ドロップダウンメニューからキーワードを選択します。
7. 「**更新**」をクリックします。
8. 「アイテムのプロパティ」で「**送信**」をクリックします。
9. ツールバーで「**ジョブを表示**」リンクをクリックし、更新の状態をチェックします。

キーワードとカスタムフィールド

Portfolioでは、カスタムフィールドとキーワードをどのように使い分けるか、判断がつきにくい場合があります。一般的に、キーワードはファイルの内容やファイルの特定のプロパティ用のカスタムフィールドを説明するために使用されます。

カスタムフィールドは、ビジネスモデルに関連したファイルについての情報を保存するのに特に有用です。カスタムフィールドは、日常業務で必要な情報を保存する場合に特に便利です。ジョブ番号、部品番号、在庫、価格、はいいいえのオプションが付いた情報、事前定義した変数を設定できる任意のデータなどを格納する際に使用するとよいでしょう。

たとえば、グラフィックデザイナーが冷凍食品のパッケージ会社から依頼されたプロジェクトを完了したとします。プロジェクトには、Adobe Illustratorのファイルと多くの関連画像が含まれています。このような場合、ファイルをカタログ化して、クライアント名とジョブ番号を格納するためにカスタムフィールドを使用します。このプロジェクトが冷凍ピザのボックスデザインであれば、「ピザ」、「サラミ」、「冷凍」というキーワードも追加します。

オリジナルのダウンロードと編集

Portfolioウェブクライアントではファイルを別の形式に変換できるほか、カタログのファイルをダウンロードするために収集できます。Portfolio Serverではすべてのメディアの処理とZIP ファイルの作成を行います。

注意

アクセスレベルによってはオリジナルをダウンロードしたり編集したりできません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

ファイルのダウンロード

Portfolio

ウェブクライアントではカタログからアイテムをダウンロードする場合、「ダウンロード」と「バッチ処理」の2つの方法があります。

オリジナルファイルをローカルの作業マシンにダウンロードするには **ダウンロード** コマンドを使用します。ファイル形式を変換およびリネーム処理をしてからダウンロードするには **バッチ処理** コマンドを使用します。

注意

アクセスレベルによってはファイルをダウンロードできません。Portfolioの管理者に[アクセスレベル](#)の詳細について確認してください。

オリジナルファイルをダウンロードする手順:

1. 「オーガナイザ」でカタログ、フォルダ、またはギャラリーを選択します。
2. メインウィンドウで1つ以上のサムネールを選択します。Shiftキーを使用して一連のアイテムの範囲を選択します。Ctrl (Win) またはCommand (Mac) キーを使用して複数のアイテムを個別に選択します。
3. 「**ダウンロード**」を選択します。Portfolio Serverはスピードと利便性のためファイルをZIP圧縮します。ダウンロードの進行状況がメインウィンドウの下部のツールバーに表示されます。
4. サーバーの作業が完了すると、ダイアログボックスがファイルをダウンロードするように尋ねてきます。ファイルを後でダウンロードする場合、「キャンセル」をクリックします。アーカイブされたオリジナルファイルは後で「**ジョブを表示**」ダイアログから取得できます。

「**バッチ処理**」コマンドでは変換設定ダイアログボックスが開き、選択したファイルをダウンロードできます。詳しくは、[変換の設定](#)を参照してください。

バッチ処理

「バッチ処理」コマンドではPortfolioウェブクライアントのユーザーは、ネットワークの共有の場所にが置かれているオリジナルファイルを

を直接変換できます。「バッチ処理」ダイアログは「変換」、「名前を変更」、「保存先」の3つの主要部分に分かれています。「**変換**」および「**名前を変更**」セクションはオプションであり、修正したい場合にのみ指定します。一方「保存先」セクションは指定しないと「バッチ処理」を実行できません。

「バッチ処理」ダイアログでの設定については[変換の設定](#)を参照してください。

「バッチ処理」コマンドですべてのパラメータを指定した後、「**バッチ処理**」ボタンをクリックして編集を続行します。サーバーが要求を処理している間、進行状況がメインウィンドウの下部のナビゲーションツールバーに表示されます。進行状況についての詳細は、ツールバーの「**ジョブを表示**」ボタンをクリックしてください。

変換設定

「バッチ処理」コマンドは、変換設定を行うダイアログを表示します。

変換

「変換」セクションには次のエリアがあります。「プリセット」、「フォーマット」、「カラーモード」、「解像度を変更」、および「サイズを変更」。変換オプションが使用可能な場合、「変換」セクションの2つのエリア（フォーマットとカラーモード）の選択が必要です。「変換」オプションでは、「解像度を変更」と「サイズを変更」はオプションのパラメータです。

プリセット

「プリセット」ダウンロードメニューでは事前に設定されている変換設定を選択できます。プリセットを設定し保存する権限のあるユーザーがいます。そのユーザーアカウントでこのオプションが使用可能かどうかは、この設定がそのアカウントにとって有効になっているかどうかで決まります。詳細は『Portfolio Server Adminガイド』を参照してください。

プリセットを追加するには:

1. 「フォーマット」と「カラーモード」で必要な選択を行います。
2. プリセットダウンロードメニューの右にある「追加 (+)」ボタンをクリックします。
3. 表示される「プリセットを保存」ダイアログで、プリセットの名前を指定し「保存」ボタンをクリックします。

カタログにプリセットを保存すると、「バッチ編集」コマンドにアクセスするすべてのユーザーがそれを使用できるようになります。たとえば、プリセットを「ウェブ形式」などの特定の目的で作成できます。ユーザーがウェブ用のカタログにファイルを保存する場合、「ウェブ形式」プリセットを選択します。これにより確実に必要な変換設定がそのファイルに適用されるようになります。

既存のプリセットを編集するには:

1. ドロップダウンメニューから、対象のプリセットを選択します。
2. 表示された値に設定を変更します。
3. プリセットダウンロードメニューの右にある「更新」ボタンをクリックします。
4. プリセットの名前を確認し「保存」ボタンをクリックします。

プリセットを削除するには:

1. ドロップダウンメニューから、対象のプリセットを選択します。
2. 「プリセット」ダウンロードメニューの右にある「削除ボタン (-)」をクリックします。

注意 カスタム設定のデフォルトのプリセット設定は削除できません。

ファイル形式

「フォーマット」ダウンメニューには使用できるファイル形式と変換ファイルが表示されます。デフォルトでは、2つのファイル形式（JPEG、TIFF、DNG）が表示されます。

各ファイル形式の選択で利用できるオプションは選択した形式により異なります。たとえば、TIFF形式を選択した場合、利用可能なパラメータは「圧縮方法」と「バイト順」です。JPEG形式を選択した場合、「画質」パラメータだけが表示されます。

カラーモード

次の3つのカラーモードがあります。RGB、CMYK、およびグレースケール

解像度を変更

使用可能にすると、ファイル変換で出力ファイルの解像度を変更できます。解像度はドロップダウンメニューでインチとcmのどちらのサイズを選択したかによって、ドット/インチまたはドット/cmで指定できます。

サイズを変更

「サイズを変更」パラメータを使用する場合、次の3つのオプションがあります。「%」、「最大寸法」、「拡大/切り取り」

% - オリジナルの画像を基準にした割合です。100%がオリジナルの画像のサイズになります。

最大寸法 -

変更した結果の画像がちょうど納まる縦と横のサイズを指定します。指定した縦横サイズではアスペクト比を変更しなければならない場合は、元の画像のアスペクト比を変えないように指定したサイズの長い方に合わせて画像のサイズが変更され、短い方のサイズは適切な値に調整されます。計測単位はドロップダウンメニューで選択した単位に従って、ピクセル、インチ、cm、mmのいずれかになります。

拡大/切り取り -

変更した結果の画像が拡大され、切り取られて納まる縦と横のサイズを指定します。「最大寸法」と同じように、指定した縦横サイズではアスペクト比を変更しなければならない場合は、元の画像のアスペクト比を変えないように画像の長い方のサイズが指定したサイズに合うように拡大または切り取られ、短い方のサイズは適切な値に設定されます。計測単位はドロップダウンメニューで選択した単位に従って、ピクセル、インチ、cm、mmのいずれかになります。

名前を変更

Portfolioはファイルをカタログ化する際に名前を変更することができ、各ファイルを個別に名前変更する手間を省きます。これはデジタルカメラから画像をダウンロードする場合に特に便利です。ファイルはカメラのメモ리카ードに保存されるので、PIC000045.JPGやPIC000046.JPGといった属名が付いていることがあります。Portfolioを使用すると、そうした名前をBermuda Holiday 01.jpgやBermuda Holiday 02.jpgのように説明的な名前に自動的に置き換えることができます。

名前を変更パラメータは「前面」、「中」、「最後」の3つのセクションを基に機能します。各セクションでは、名前変更のスタイルを「テキスト」、「連番」、「ファイル名」、「なし」の中から選択する必要があります。

ファイルの名前を変更するには:

1. 「バッチ処理」ダイアログで「名前を変更」を有効にします。
2. 3つのドロップダウンメニューを使用して、名前指定の方式を選択します。使用可能な名前指定のオプションは以下のとおりです。

テキスト -最大31文字の長さで説明のテキスト文字列を入力します。

連番 -

任意の数値を入力します。複数のファイルの名前を変更する場合、数値を1ずつ増加してそれらを各ファイルの名前に使用します。たとえば、番号001を入力し、3つの画像をカタログ化すると、それらの名前には001、002、および003という番号が付加されます。

ファイル名 - 新しい名前付け方式にオリジナルファイルの名前を含めます。

なし - ファイルに名前変更の方式を適用しません。

こうしたオプションを任意の順序と組み合わせで適用し、新しい名前付け方式の前、中、後を構成することができます。

3. 必要な命名方式の入力が完了したら、「バッチ処理」ボタンをクリックしてその命名方式を適用します。

保存先

「バッチ処理」設定を行った後は、ファイルの出力先を指定する必要があります。「新規ファイルでオリジナルのファイルを置き換えます」または「オリジナルのファイルと同じフォルダ内に新規ファイルを作成し、同じファイル名の場合は変更します」のいずれかを選択します。後者のオプションにはさらに、新規画像をカタログに追加するオプションがあります。

ジョブを表示

「ジョブ」ダイアログではZIPファイルの作成、ファイル変換、実行したスクリプトの状態などすべてのサーバーのタスクの進行状況が表示されます。「ダウンロード」、「バッチ処理」、「スクリプトを実行」コマンドの結果もすべて、「ジョブを表示」ダイアログに表示されます。

コマンドはサーバー上で動作するため、「ジョブ」ダイアログにはコマンドのエントリが表示され、さらにコマンドの開始終了のタイムスタンプと、その右に進行状況も表示されます。完了したタスクは、クリアされるまで表示されたままになります。

コマンドの結果をダウンロードするには：

1. 「ダウンロード」または「バッチ処理」コマンドを開始します。
2. ツールバーで「**ジョブを表示**」リンクをクリックし、現在のタスクの進行状況を表示します。
3. タスクが完了すると、そのタスクの「**ダウンロード**」ボタンが利用可能になります。

注意完了処理の間にジョブに問題が発生すると、状態は「完了」になりますが、"n of n アイテムは処理されていません。"という新しい項目が追加されます。この項目をクリックするとエラーについてのさらに詳しい情報が表示されます。トラブルシューティングのために、この情報をPortfolio Serverの管理者に連絡してください。

Extensis社について

連絡先

Extensis

1800 SW First Avenue
Suite 500
Portland, OR 97201
電話（無料）：（800） 796-9798
電話：（503） 274-2020
Fax：（503） 274-0530
Web: <http://www.extensis.com>

Extensis ヨーロッパ

Suites 17 &18, Newton House
Northampton Science Park
Kings Park Road, Moulton Park
Northampton
NN3 6LG
United Kingdom
電話: +44 (0) 1604 654 270
Fax: +44 (0) 1604 654 268
Email: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

Web: <http://www.extensis.com/customerservice/>
パッケージ内の案内をご覧ください。

ドキュメントについてのお問い合わせ

Web: <http://www.extensis.com/helpfeedback/>
もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定（オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど）
- ご質問、または問題の説明（何がどういときに起こったのかを具体的に）
- 電話番号（担当者からお客様への電話を希望される場合）

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。

よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスからExtensisのWebサイトをご利用ください。 <http://www.extensis.com/>

電話によるサポート

北米では、（503） 274-7030にご連絡ください。

ヨーロッパでは、+44 (0) 1604-654-270にご連絡ください。

日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。

索引

E

Extensisのお問い合わせ先, 37

P

Portfolioウェブクライアントのインストール, 9

Z

ZIP, 33

A

アイテムのアップロード, 14

アイテムのプレビュー, 12

アイテムのプロパティ, 26, 27

アイテムのプロパティの編集, 27

アイテムの削除, 14

アイテムの追加, 23

アクセスレベル, 16

U

ウェブクライアントのインターフェイス, 10

O

オリジナル

削除, 14

オリジナルのアーカイブ, 33

オリジナルファイルの変換, 33

オリジナルを編集, 33

カ

カスタマーサービス, 37

カスタムフィールド, 30, 32

カタログ

アイテムのアップロード, 14

カタログへのアイテムの追加, 14

カラーモードの変換, 34

キ

キーワード, 30, 32

削除, 31

置換, 32

追加, 30

ギ

ギャラリー, 22

アイコン参照, 22

アイテムの削除, 14, 23

アイテムの追加, 23

スマート, 22, 25

パブリックに設定, 25

プライベートに設定, 25

プライベートを作成, 22

並べ替え, 24

公開を作成, 22

削除, 24

名前変更, 24

新しい, 22

ギャラリーへアイテムを追加, 23

ク

クイック検索, 18

結果のクリア, 21

クエリー, 18

クイック検索, 18

検索ツール, 19

サ

サイズの変換, 34

サブフォルダ, 29

サポート, 37

シ

システム要件, 9

ジ

ジョブダイアログ, 36

ジョブを表示, 36

オリジナル出力の編集, 33

ス

スマートギャラリー, 25

セ

セールス, 37

ダ

ダウンロード, 33

ジョブを表示, 36

ダウンロードでファイルの名前を変更, 33

ダウンロードでファイルを変換, 33

は

はじめに, 9

バ

バッチ処理, 33

フ

ファイルのカタログ化, 14
ファイルのコピー, 28
ファイルの削除, 28
ファイルの名前変更, 34
ファイルの移動, 28
ファイルの追加, 14
ファイル形式
変換, 34
フィールドタイプ, 26
フォルダ
新規作成, 29

プ

プリセット
変換, 34
プロパティ, 26

マ

マニュアルへのご意見, 37

メ

メインウィンドウ, 11
アイテムのプレビュー, 12

ユ

ユーザーインターフェイス, 10

並

並べ替え, 24

仮

仮レコードアイテム, 17

企

企業セールス, 37

削

削除
キーワード, 31
ギャラリー, 24
ギャラリーからアイテムを削除, 23
ファイル, 14

名

名前変更, 24
名前変更設定, 34

商

商標, 2

変

変換設定, 34

技

技術サポート, 37

新

新しい機能, 6
新機能, 6

検

検索, 18
クイック検索, 18
検索ツール, 19
検索ツール条件, 20
検索ツール, 19
スマートギャラリー, 25
検索条件, 20
結果のクリア, 21
検索結果のクリア, 21

発

発行者, 16

管

管理者, 16

編

編集者, 16

置

置換
キーワード, 32

著

著作権, 2

表

表示オプション, 11

要

要件, 9

解

解像度の変換, 34

詳

詳細規定, 2

追

追加
キーワード, 30

閲

閲覧専用, 25
閲覧者, 16

電

電話番号, 37